

# 北東アジア地域自治体等の環境保全に関する情報交流

## 兵庫県における環境の現状・課題、対策について

### 1 環境適合型社会の形成

産業公害問題から都市・生活型公害、さらには地球環境問題へと環境課題が変化し、将来を見据えた一層の対策が求められていることから、環境学習・教育による人づくりと元気な地域づくり、参画と協働による意識・行動の変革、環境と経済の好循環などを環境施策の指針としている。

また、旧型器具の省エネルギータイプへの切換えや太陽光発電など自然エネルギーの導入を促進し、省エネ・温室効果ガスの削減に努めている。

### 2 環境学習・教育の展開

自ら「体験」、「発見」し、自ら「学ぶ」環境学習・教育を進めることにより、環境や生命を大切に思うところを育み、学習から実践へとつなげていくことを基本理念に、幼児期・小・中・高校からシニア世代までのそれぞれのライフステージに応じて体験を基本とする体系的なプログラムを内容とする環境学習・教育を展開している。

平成 20 年 3 月には、環境学習の拠点として、省エネ・新エネ技術等の見学・体験、研修・啓発機能を備えた環境学習体験館「はりまエコハウス」が開館した。

### 3 地域環境への負荷の低減

持続可能な循環型社会を目指したレジ袋の削減をはじめとする廃棄物の発生抑制、リサイクル及び適正処理を推進している。平成 20 年 5 月に開催された環境大臣会合を契機に、ごみの減量化、再利用、再資源化を図る資源循環型の社会の形成を目指したキャンペーンを展開し、生活スタイルの変革を促すため、消費者団体や企業をはじめ、広く県民にアピールしている。

また、大気環境保全のため「環境の保全と創造に関する条例」に基づいたディーゼル自動車等運行規制の実施や低公害車の普及促進などに努めている。さらに、生活排水の処理率の向上と地域間格差の解消に向けた「生活排水 99%フォローアップ作戦」に取り組んでいる。

加えて、汚染物質排出移動登録（PRTR）制度を活用したダイオキシンなどの有害化学物質対策を推進している。

### 4 自然環境の保全と再生

瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生するため、新たな法整備の早期実現をめざした取組を進めている。また、失われた自然や健全な水循環の再生・回復を目指して「ひょうごの森・川・海再生プラン」に基づき、森・川・海をつなぐ施策・事業を推進するとともに、地域住民による自然再生や健全な水循環の回復を図るための取組を支援している。

さらに、生物多様性の保全施策を総合的・体系的に進めるための生物多様性戦略の策定に取り組んでいる。

### 5 地球環境問題への対応

地域から地球温暖化対策に貢献していくため、県民、事業者、行政の温室効果ガス排出量削減について、それぞれの役割に応じて取り組むべき具体的な行動計画を推進している。また、グリーンエネルギーの導入促進により、一層の省エネルギー対策と新エネルギーの導入を図っている。

さらに、閉鎖性海域の環境保全を目的とする（財）国際エメックスセンター等の国際地球環境研究拠点を活用した情報発信・収集や、環境技術研修員の受け入れなどを通じた国際貢献に努めている。